

施策評価シート

平成27年度 第9次鳥取市総合計画

施策コード	4101	所属名	環境下水道部 生活環境課
施策名	循環型社会の形成		

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○地球温暖化は、人の活動の拡大に伴う人為的な原因によるもので、気温や水温の上昇、降水量の変化など、気候や生態系に幅広く影響を与えています。</p> <p>○環境への影響が少ないクリーンな新エネルギーを導入し、二酸化炭素の排出抑制に向けた、さまざまな取組みを進めていく必要があります。</p> <p>○本市は、恵まれた自然環境を次代に継承するため、環境負荷の軽減の一つとして、ごみの減量化と再資源化に取り組んでいます。</p> <p>○稼働しているごみ処理施設は、耐用年限が到来しつつあり、鳥取県東部広域行政管理組合の可燃物処理施設の建設に向けた取組みを進めていく必要があります。</p>
めざす方向	市民等と市がそれぞれの役割を担いながら、二酸化炭素の排出抑制に向け、クリーンな新エネルギーの導入を促進するとともに、恵まれた環境を次代に継承するため、ごみの排出抑制に取り組むなど、持続可能な循環型社会の実現をめざします。
達成するための対策・手段	<p>①新エネルギー設備導入による低炭素社会の実現</p> <p>②環境ビジネス等の創出</p> <p>③ごみ減量化の推進</p> <p>④新しい可燃物処理施設の整備</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	新エネルギーの導入	KW	目標	679	694	709	725	741
				実績	1575	1839	2164	1390	1020
				目標達成率	232%	265%	305%	192%	138%
		(指標の説明) 市が新たに助成する新エネルギー設備による発電量。(基準値は平成21年度)							
	2	一人一日あたりのごみの総排出量	g	目標	883	876	869	862	856
				実績	888	888	882	874	886
				目標達成率	101%	101%	101%	101%	104%
		(指標の説明) 市の家庭や事業所から出される可燃ごみ・不燃ごみ等すべてのごみの一人一日あたり総排出量。(基準値は平成21年度)							
	3			目標	0	0	0	0	0
実績				0	0	0	0	0	
目標達成率									
(指標の説明)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	2,797,928	3,148,583	2,139,196	2,021,308	2,155,521

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>新エネルギー導入については、青谷町いかり原太陽光発電所の稼働開始(平成26年3月)などの特徴的な新事業を実施し、目標を上回る成果をあげることができた。ごみ減量化については、市民とともに排出抑制、再資源化、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進等に取り組んできたが、近年削減量も頭打ちになりつつあり、今後更なる啓発や効果的な施策の検討が必要である。</p>
---	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>自然エネルギーの導入促進やごみ減量化の推進など、鳥取市環境基本計画及び鳥取市地球温暖化対策実行計画に基づく各施策を着実に進め、大きな成果を上げることができた。基本的には施策を維持継続すべきと考えられるが、国の新しいCO2削減目標や環境施策に対する市民意識の変化など、本施策を取り巻く状況は大きく変化しており、事業によっては社会情勢に合わせて柔軟な見直しも必要である。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	002989	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	太陽光発電事業(維持管理)		所属名	環境下水道部 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成45年度
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	
施策	4101	循環型社会の形成				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	新エネルギーの導入		1,575KW	741KW	運営方法	直営
	一人一日あたりのごみの総排出量		888g	856g	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	青谷町いかり原維持管理費			予算事業コード	23-01-01-01-01-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市
意図 (どのような状態にするために)	地域におけるエネルギーの地産地消や市有地の有効活用、地元経済の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	太陽光発電施設等を整備し、電気事業の円滑な運営に努める。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			青谷町いかり原太陽光発電施設維持管理	青谷町いかり原太陽光発電施設維持管理	青谷町いかり原太陽光発電施設維持管理	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	3,148	3,438	5,834	
	直接経費 A	0	0	2,419	2,686	5,098	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	2,686	5,097
		一般財源	0	0	2,419	0	1
人件費 B	0	0	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	売電電力量	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			kWh	目標	0	0	0	593378	592556
			実績	0	0	0	540501	622209	
		(指標の説明) 青谷町いかり原太陽光発電事業による年間売電電力量(kWh)							
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218</p> <p>【9次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P340(電001) 2月補正予算・P89(1) 専決補正予算・P2</p> <p>【事業の概要】 青谷町いかり原太陽光発電施設に係る維持管理業務を行う。 ・電気通信料 ・法定点検 ・公課費(消費税及び地方消費税) ・機械警備委託業務等</p> <p>【事業の成果】 維持管理等について適切に実施し、年間を通じて安定的に発電が行われ、ほぼ想定通りの売電収入を得た。 <div style="text-align: right;">売電収入</div> 平成26年度 23,319千円 平成27年度 26,880千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努め、引き続き安全で安定的な発電を実施していく。</p> <p>※その他財源の諸収入は、太陽光発電所売電収入。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	売電電力量				91%	105%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市環境基本計画に基づき、エネルギー自給率の向上、地球温暖化防止の観点から再生可能エネルギーの導入促進に積極的に取り組んでいるため妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	太陽光発電所の維持管理を適切に行うことは、安定的な発電所運営には必要不可欠であるため。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事業の実施手法は極めて効果的であり、高い費用対効果が得られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市環境基本計画に基づき、エネルギー自給率の向上、地球温暖化防止の観点から取り組むものであり、公平性は確保されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取市青谷町いかり原太陽光発電所は平成26年3月に整備を終えている。今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努めていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001471	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	住宅用自然エネルギー導入促進事業費		所属名	環境下水道部 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	鳥取市住宅用自然エネルギー導入促進事業費補助金交付要綱
施策	4101	循環型社会の形成				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新エネルギーの導入		1,575KW	741KW	運営方法	補助金交付
	一人一日あたりのごみの総排出量		888g	856g	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	住宅用自然エネルギー導入促進事業費		予算事業コード	01-04-01-05-08-05	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	住宅用自然エネルギーを導入する市民
意図 (どのような状態にするために)	自然エネルギーの有効利用と化石燃料に替わるエネルギー普及により二酸化炭素の排出量を削減するとともに、地球温暖化の防止と環境保全意識の高揚を図る
手段 (どうするのか)	補助金を交付する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	補助対象 ・太陽光発電システム ・省エネ設備 ・太陽光発電 ・小型風力発電施設 ・ペレットストーブ ・薪ストーブ ・太陽熱温水器	補助対象 ・太陽光発電システム ・省エネ設備 ・太陽光発電 ・小型風力発電施設 ・ペレットストーブ ・薪ストーブ ・太陽熱温水器 ・民生用燃料電池システム	補助対象 ・太陽光発電システム ・小型風力発電設備 ・薪ストーブ ・ペレットストーブ ・太陽熱温水器 ・LED照明器具 ・高効率給湯器 ・家庭用蓄電池 等	補助対象 ・太陽光発電システム ・小型風力発電設備 ・薪ストーブ ・ペレットストーブ ・太陽熱温水器 等	補助対象 ・太陽光発電システム ・小型風力発電設備 ・薪ストーブ ・ペレットストーブ ・太陽熱温水器 等	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	76,239	79,437	149,553	96,551	12,971	
	直接経費 A	68,742	72,011	142,268	89,029	5,614	
	直接経費の財源内訳	国・県	45,145	34,466	68,234	44,514	2,807
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	23,597	37,545	74,034	44,515	0
一般財源	0	0	0	0	2,807		
人件費 B	7,497	7,426	7,285	7,522	7,357		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	住宅用自然エネルギー導入件数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	188	194	516	350	300		
	実績	404	446	558	360	282			
2		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	3		目標	0	0	0	0	0	
実績	0		0	0	0	0			

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 環境政策係 0857-20-3218</p> <p>【9次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P216 (環006)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>自然エネルギーの普及による温室効果ガスの排出量削減と化石燃料の代替燃料の普及のため、購入・設置費用を補助する。</p> <p><補助金額></p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電 (←繰越明許費) 太陽電池出力1kw当たり7.5万円を補助 (上限30万円) 小型風力発電施設 設置に要する経費の1/10を補助 (上限10万円) ペレットストーブ 設置に要する経費の1/10を補助 (上限6万円) 薪ストーブ 設置に要する経費の1/10を補助 (上限6万円) 太陽熱温水器 設置に要する経費の1/10を補助 (上限2万円) 民生用燃料電池システム 設置に要する経費の1/10を補助 (上限18万円) その他自然エネルギー 設置に要する経費の1/10を補助 (上限5万円) <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光発電</td> <td>459件</td> <td>296件</td> <td>209件</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※平成27年度は繰越明許費で補助</td> </tr> <tr> <td>薪ストーブ</td> <td>20件</td> <td>16件</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td>太陽熱温水器</td> <td>45件</td> <td>28件</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>民生用燃料電池システム</td> <td>22件</td> <td>20件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>546件</td> <td>360件</td> <td>282件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>設置経費の低価格化や自然エネルギー促進をとりまく状況の変化などに伴い、今後の方針を検討し補助基準額等を見直す必要がある。</p>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	太陽光発電	459件	296件	209件	※平成27年度は繰越明許費で補助				薪ストーブ	20件	16件	27件	太陽熱温水器	45件	28件	21件	民生用燃料電池システム	22件	20件	25件	計	546件	360件	282件
		平成25年度	平成26年度	平成27年度																									
太陽光発電	459件	296件	209件																										
※平成27年度は繰越明許費で補助																													
薪ストーブ	20件	16件	27件																										
太陽熱温水器	45件	28件	21件																										
民生用燃料電池システム	22件	20件	25件																										
計	546件	360件	282件																										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 住宅用自然エネルギー導入件数	215%	230%	108%	103%	94%
	2					
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p>・市が関与すべき範囲か</p> <p>・対象と意図は現行でよいか</p> <p>・適切な目標が設定されているか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない</p>	国のCO2削減目標に沿って、鳥取市環境基本計画に基づき実施されており、市民ニーズも高いため妥当である。
<p>事業の有効性</p> <p>・成果の向上につながっているか</p> <p>・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 有効でない</p>	本補助金は、市民の自然エネルギー導入へのインセンティブを高めており、その結果、CO2削減が図られている。
<p>資源投入の効率性</p> <p>・事業の実施手法は効率的か</p> <p>・高い費用対効果が得られているか</p> <p>・外部委託の可能性はないか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない</p>	事業費の一部補助により、市民の自然エネルギー導入が促進されており、効果的な手法であり、また、高い費用対効果が得られていると判断される。
<p>サービスの公平性</p> <p>・対象は適切か</p> <p>・受益者負担は適正か</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 公平ではない</p>	対象の設定、受益者負担ともに極めて適正である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	激変緩和等(補助基準額等を見直し)を行い、補助内容の縮小・廃止に向けた調整を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001504	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	カーシェアリング普及事業		所属名	都市整備部	都市環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	
施策	4101	循環型社会の形成				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新エネルギーの導入		1,575KW	741KW	運営方法	直営
	一人一日あたりのごみの総排出量		888g	856g	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	カーシェアリング普及事業費			予算事業コード	01-07-01-01-23-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全ての市民
意図 (どのような状態にするために)	二酸化炭素等を削減し、環境対策上の効果を図るとともに、市民が気軽に電気自動車の性能を実感できる機会を提供し、低コストによる電気自動車の普及を推進する。
手段 (どうするのか)	ホームページ等による効果的なカーシェアリングシステムの開発や、市営片原駐車を活用し、まち中における電気自動車によるカーシェアリングの実証実験を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 関係課協議	平成24年度 関係課協議	平成25年度 関係課協議	平成26年度 ・実証実験に向けての検討	平成27年度 特になし	
	年度別実績	未実施	カーシェアリング実証実験の支援	関係課協議	関係課協議	特になし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	743	729	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	0	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		H27事業化目標		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) H27事業化目標									
	2			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理係 0857-20-3252</p> <p>【9次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 二酸化炭素等を削減し、環境対策上の効果を図るとともに、市民が気軽に電気自動車の性能を実感できる機会を提供し、低コストによる電気自動車の普及を推進する。</p> <p>【事業の成果】 平成24年10月に、民間事業者による市営片原駐車場を含めた関連施設(民間)でカーシェアリング事業の実証実験を実施</p> <p>【今後の課題・方向性】 特になし</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	H27事業化目標					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取県、民間事業者が既に類似した事業を実施している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 有効でない	片原駐車場を活用した事業としては有効ではない。
資源投入の効率性 <small>・事業の実手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	予算計上なし。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 公平ではない	特定の利用者に限定されるため公平ではない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input checked="" type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	既に鳥取県、民間事業者が事業を実施しており、平成26年度をもって終了することとした。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001478	重点事業区分	リープロ4	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ごみ減量化推進事業(減量再資源化)		所属名	環境下水道部 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	鳥取市再資源化等推進事業奨励金交付要綱
施策	4101	循環型社会の形成				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新エネルギーの導入		1,575KW	741KW	運営方法	その他
	一人一日あたりのごみの総排出量		888g	856g	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ごみの減量化及び再資源化対策費		予算事業コード	01-04-02-01-05-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	再資源化等推進事業を実施する団体
意図 (どのような状態にするために)	ごみの減量と再資源を推進する
手段 (どうするのか)	再資源化等推進事業を実施する団体へ奨励金を交付する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付する	平成24年度 ・再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付する	平成25年度 ・再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付する	平成26年度 ・再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付する	平成27年度 ・再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付する	
	年度別実績	・再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付した	・再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付した	・再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付した	・再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付した	・再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付した	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	23,018	22,029	21,537	20,671	19,174	
	直接経費 A	20,769	19,801	19,351	18,414	16,967	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	20,769	19,801	19,351	18,414	16,966
	一般財源	0	0	0	0	1	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	再資源回収量	単位	kg	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	4221213	4221213	3365937	3365937	3365937			
	実績	3528728	3365937	3273787	3117835	2868674				
2	(指標の説明)	再資源化団体が回収した量	目標	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0				
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0				

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 廃棄物対策係 0857-20-3217</p> <p>【9次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 1 7 (環 0 0 8)</p> <p>【事業の概要】 ごみの再資源化と減量化を推進することを目的に、再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付する。 奨励金単価：古紙類(新聞紙、ダンボール、雑誌等)・・・6円/kg 布類、金属類、ビン類等・・・4円/kg・本</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>古紙類・アルミ缶等</td> <td>ビン類</td> <td>奨励金総額</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>3,262,112kg</td> <td>24,581本</td> <td>19,351千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>3,108,923kg</td> <td>18,763本</td> <td>18,414千円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>2,868,674kg</td> <td>19,759本</td> <td>16,965千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 本市の喫緊の課題であるごみの減量化のため、必要不可欠な施策である。現在のところ制度の見直し等は必要ないが、目標値を下回らないよう市民への啓発に努める。</p>		古紙類・アルミ缶等	ビン類	奨励金総額	平成25年度	3,262,112kg	24,581本	19,351千円	平成26年度	3,108,923kg	18,763本	18,414千円	平成27年度	2,868,674kg	19,759本	16,965千円
		古紙類・アルミ缶等	ビン類	奨励金総額													
平成25年度	3,262,112kg	24,581本	19,351千円														
平成26年度	3,108,923kg	18,763本	18,414千円														
平成27年度	2,868,674kg	19,759本	16,965千円														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	再資源回収量	84%	80%	97%	93%	85%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本事業を推進することにより、廃棄物の減量化や処理経費の削減につながる。対象と意図、目標設定も適切である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業により、市民の再資源化の活動を促進しており、大きな成果をあげている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	多くの市民の再資源化の取組みを促しており、実施手法は極めて効率的、かつ高い費用対効果をもたらしている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全ての市民を対象とし、奨励金の額も適正と判断される。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本市の喫緊の課題であるごみの減量化のため、必要不可欠な施策である。現在のところ制度の見直し等は必要ないが、目標値を下回らないよう市民への啓発に努める必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001483	重点事業区分	リープロ4	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ごみ減量化推進事業(ごみ減量)		所属名	環境下水道部 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	鳥取市家庭用生ごみ堆肥化容器購入費補助制度
施策	4101	循環型社会の形成				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新エネルギーの導入		1,575KW	741KW	運営方法	直営
	一人一日あたりのごみの総排出量		888g	856g	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ごみ減量化推進事業費		予算事業コード	01-04-02-01-05-08	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	ごみの減量と再資源を推進する
手段 (どうするのか)	市民・事業者・行政が一体となって、ごみの排出抑制、再資源化を促進するため啓発活動等を実施する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・小学生リジナルマイバックコンテスト ・ノーレジ袋推進活動 ・生ごみ減量講習会等	平成24年度 ・小学生リジナルマイバックコンテスト ・ノーレジ袋推進活動 ・生ごみ減量講習会等	平成25年度 ・生ごみ減量講習会 ・生ごみ堆肥化容器等の購入費補助 ・ごみ減量等優良事業所認定・表彰	平成26年度 ・生ごみ減量講習会 ・生ごみ堆肥化容器等の購入費補助 ・ごみ減量等優良事業所認定・表彰	平成27年度 ・生ごみ減量講習会 ・生ごみ堆肥化容器等の購入費補助 ・ごみ減量等優良事業所認定	
	年度別実績	・小学生リジナルマイバックコンテスト ・ノーレジ袋推進活動 ・生ごみ減量講習会等	・ノーレジ袋推進活動(レジ袋無料配布中止) ・生ごみ減量講習会等	・生ごみ減量講習会 ・生ごみ堆肥化容器等の購入費補助 ・ごみ減量等優良事業所表彰	・生ごみ減量講習会 ・生ごみ堆肥化容器等の購入費補助 ・ごみ減量等優良事業所認定・表彰	・生ごみ減量講習会 ・生ごみ堆肥化容器等の購入費補助	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,607	2,616	2,505	2,495	2,541	
	直接経費 A	358	388	319	238	334	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	53
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	358	388	319	238	281
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	ダンボールコンポスト補助件数	単位	件	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	0	0	600	600	600					
	(指標の説明)	ダンボールコンポスト補助件数										
2	指標名	講習参加者の環境意識の向上	%	目標	0	0	80	80	80	80	80	80
	実績	0	0	100	80	85						
(指標の説明)	受講者アンケート調査で環境意識が高くなったと回答をした受講者の割合											
3	指標名			目標	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0	0						
(指標の説明)												

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 環境政策係 0857-20-3218</p> <p>【9次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P219（環011）</p> <p>【事業の概要】 家庭ごみの有料化により家庭ごみは減少したが、減量効果を維持し、さらなる減量化・再資源化を積極的に推し進めていく必要がある。そこで、平成24年度より家庭でできる生ごみ堆肥化方法として、段ボールコンポスト講習会を開催するとともに、段ボールコンポスト及びコンポスト容器の購入者に対し、補助金を交付している。</p> <p>①事業所ごみ減量化の取組 ごみ減量等優良事業所認定・表彰制度の実施</p> <p>②ごみ減量推進事業 個人及び団体に生ごみ処理容器等の購入補助を実施する 生ごみ処理容器の購入費用の2/3相当額を補助する。ただし上限は設定する。</p> <p>【事業の成果】 講習会等の普及啓発により、生ごみ減量化に取り組む市民が増加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>講習会参加者数</th> <th>補助件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>163名</td> <td>300件</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>43名</td> <td>116件</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>147名</td> <td>54件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 誰でもすぐに取り組めるごみダイエット（減量化）を全市的に盛り上げ、市民一丸となって取り組んでいく。</p>		講習会参加者数	補助件数	平成25年度	163名	300件	平成26年度	43名	116件	平成27年度	147名	54件
		講習会参加者数	補助件数										
平成25年度	163名	300件											
平成26年度	43名	116件											
平成27年度	147名	54件											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	ダンボールコンポスト補助件数			50%	19%	9%
	2	講習参加者の環境意識の向上			125%	100%	100%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生ごみ減量化への重要な施策であり、補助対象と意図、目標も適切に設定されている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	経費の一部を補助することにより、市民のごみ減量の取組みを促進しており、成果の向上に大いにつながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	行政ではできない各家庭でのごみ減量化を促進する取り組みであり、実施手法は極めて効率的で、高い費用対効果が得られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全ての市民を対象としており、受益者負担も適正である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も継続実施する。ただし、実績が目標に達していないので、更なる市民啓発は必要である。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001501	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ごみ処理施設維持管理修繕事業		所属名	環境下水道部 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	
施策	4101	循環型社会の形成				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	新エネルギーの導入		1,575KW	741KW	運営方法	外部委託
	一人一日あたりのごみの総排出量		888g	856g	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	施設維持管理修繕費		予算事業コード	01-04-02-04-02-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	可燃ごみの適正な処理と、可燃ごみ処理施設（神谷・国府・ふくべ・ながお）の維持管理
意図 (どのような状態にするために)	周辺環境に配慮するとともに、安定したごみ焼却量を維持し、市民生活に寄与する。
手段 (どうするのか)	適切な運転管理と修繕計画のもと、焼却施設の安定稼働を維持し、公害物質の発生抑制を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・各清掃施設定期修繕 ・神谷清掃工場周辺環境調査	平成24年度 ・各清掃施設定期修繕 ・神谷清掃工場周辺環境調査	平成25年度 ・各清掃施設定期修繕 ・神谷清掃工場周辺環境調査 ・国府町クリーンセンター周辺環境調査 ・レインボーふくべ周辺悪臭調査	平成26年度 ・各清掃施設定期修繕 ・神谷清掃工場周辺環境調査 ・国府町クリーンセンター周辺環境調査 ・レインボーふくべ周辺悪臭調査	平成27年度 ・各清掃施設定期修繕 ・神谷清掃工場周辺環境調査 ・国府町クリーンセンター周辺環境調査 ・レインボーふくべ周辺悪臭調査	
	年度別実績	・各清掃施設定期修繕 ・神谷清掃工場周辺環境調査	・各清掃施設定期修繕 ・神谷清掃工場周辺環境調査	・各清掃施設定期修繕 ・神谷清掃工場周辺環境調査 ・国府町クリーンセンター周辺環境調査 ・レインボーふくべ周辺悪臭調査	・各清掃施設定期修繕 ・神谷清掃工場周辺環境調査 ・国府町クリーンセンター周辺環境調査 ・レインボーふくべ周辺悪臭調査	・各清掃施設定期修繕 ・神谷清掃工場周辺環境調査 ・国府町クリーンセンター周辺環境調査 ・レインボーふくべ周辺悪臭調査	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	162,182	225,762	150,270	121,249	204,725	
	直接経費 A	158,433	222,049	146,627	117,488	201,046	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	41,989	0	0	0	0
一般財源	116,444	222,049	146,627	117,488	201,046		
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	3,679		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		機械設備故障による緊急停止回数	回	目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	1	0	0	0		
	(指標の説明) 機械設備故障による緊急停止回数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

事務事業評価シート

事務事業コード	001492	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	東部広域可燃物処理場建設事業		所属名	環境下水道部 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	
施策	4101	循環型社会の形成				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新エネルギーの導入		1,575KW	741KW	運営方法	その他
	一人一日あたりのごみの総排出量		888g	856g	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	可燃物処理場建設広域負担金			予算事業コード	01-04-02-02-05-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	東部広域行政管理組合 可燃物処理場
意図 (どのような状態にするために)	東部広域行政管理組合の可燃物処理場建設を支援する
手段 (どうするのか)	東部広域行政管理組合の可燃物処理場建設を支援する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 負担金	平成24年度 負担金	平成25年度 負担金	平成26年度 負担金	平成27年度 負担金	
	年度別実績	負担金	負担金	負担金	負担金	負担金	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	52,790	76,665	59,084	75,421	268,202	
	直接経費 A	52,415	76,294	58,720	75,045	267,834	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	19,700	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	52,415	76,294	39,020	75,045	267,834
人件費 B	375	371	364	376	368		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		H29稼働予定		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) H29稼働予定									
	2			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 廃棄物対策係 0857-20-3217</p> <p>【9次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：9月補正予算・P24(環003) 2月補正予算・P50(515)</p> <p>【事業の概要】 国のごみ処理広域化計画に基づいて県が策定したごみ処理広域化実施計画を踏まえ、県東部地区15市町村(当時)は可燃ごみを広域処理するための基本協定を締結した。これにより、東部広域行政管理組合は新たにごみ処理施設を建設することとし、早期の新工場供用開始を目指している。 県東部地区の可燃ごみの焼却を1つの焼却場に集約することにより、ダイオキシン類等の発生リスクを抑え、かつ可燃ごみを広域処理をすることでごみ処理にかかるコストを削減する。</p> <p>【事業の成果】 東部広域における事業実施に対する市町村負担金。 平成25年度 58,720千円 平成26年度 75,045千円 平成27年度 267,834千円</p> <p>【事業の内容】 ①埋蔵文化財調査・ごみ質調査業務 ②敷地造成工事・施設建設実施設計業務 ③施設建設に必要な用地取得 ④送電線接続工事</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	H29稼働予定					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本市の公衆衛生の保持のため、新可燃物処理施設の整備は喫緊の課題であり、整備費の一部を負担し施設整備を支援する必要があるため妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	新可燃物処理施設整備計画に基づき実施されており、有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	新可燃物処理施設整備計画に基づき効率的に実施されている。施設の広域化により費用の削減を図ることができる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全ての市民のために整備するもので、整備費負担も適切であり公平性は確保されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本市の重要施策であり、適切に推進していく。	